

新富町 議会だより

126号

2025年4月

上新田学園小学部



新田学園小学部



富田小学校



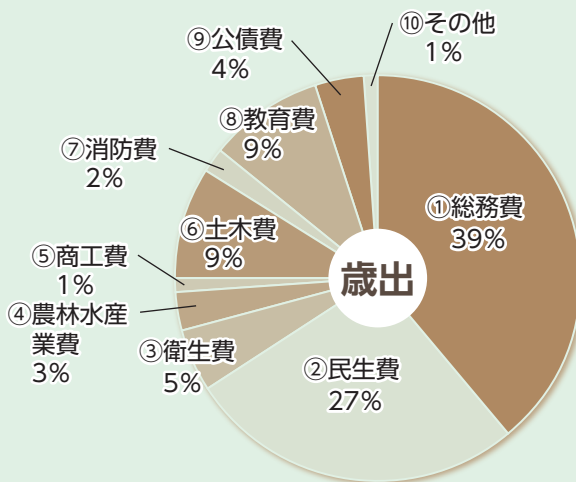
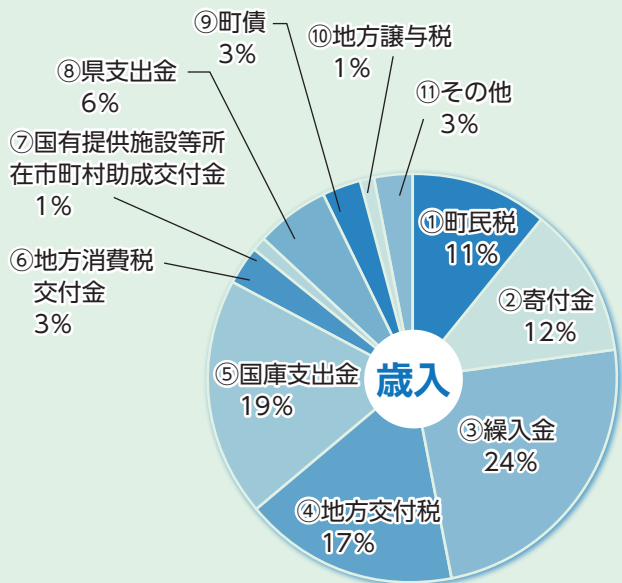
3月定例会

- 表紙「令和6年度卒業証書授与式」
- 議案等の審議結果
- 定例会報告①(令和7年度予算)
- 傍聴アンケートまとめ
- 一般質問(6人が登壇)
- 特集:議員と語ろう会
- 定例会報告②(令和6年度補正予算)
- ピックアップ(卒業式の裏側)



3月定例会報告①

令和7年度一般会計予算を可決



149億3,516万円 ※対前年比9.5%増

国民健康保険特別会計予算 ※前年比4.15%減

20億8,376万1千円

介護保険特別会計（保険事業勘定）予算 ※前年比4.98%増

17億1,649万5千円

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算 ※前年比1,024万8千円減

666万9千円

後期高齢者医療特別会計予算 ※前年比4.7%増

5億1,276万4千円

土地取得特別会計予算

34万円

水道事業会計予算（収益的収入および支出の予算額）

収入3億1,688万8千円 支出3億1,197万1千円

総務産業常任委員会での審査

令和7年度の一般会計予算は149億3,516万4千円で、前年度比9.5%増。歳入では町税等が67億6千万円、国・県支出金等は81億7千万円。歳出は、義務的経費48億9千万円、投資的経費21億4千万円を計上し、暮らし環境、健康・福祉、教育・文化、産業・経済関連事業に重点を置いている。具体的な取り組みには、公園整備、防犯灯設置などの環境整備。福祉サービスの自己負

担額に助成するなど子育て支援の充実。企業誘致や後継者向け営農支援にも取り組む。水道事業会計予算では、給水戸数5,879戸、収益的収入3億1,688万8千円、支出3億1,197万1千円を計上し、給水収益減少や施設老朽化への対応が議論され、経営統合による健全経営を進めるとして全会一致で可決した。

文教厚生常任委員会での審査

令和7年度の新富町国民健康保険特別会計予算は、歳入歳出ともに4.15%減の20億8,376万1千円が計上され、保険給付費と国民健康保険事業費納付金が主な歳出項目です。国民健康保険税は0.75%増であるが、確定申告及び決算の状況を踏まえ調整。介護保険特別会計（保険事業勘定）予算は4.98%増の17億1,649万5千円で、歳出の86.98%が保険給付費。後期高齢者医療特

別会計は4.7%増の5億1,276万4千円を計上。広域連合納付金が主な歳出で、高齢者の保険事業と介護予防を一体的に実施する委託費も計上。文化施設維持管理基金条例は文化会館整備のための基金創設を目的とし、国民健康保険税条例改正では課税限度額の引き上げと低所得者への軽減措置が含まれている。全議案は委員会で適切と判断され、全会一致で可決した。

令和7年新富町議会

● 令和7年度主な取り組み事業紹介 ●

交通系ICカードエリア拡大 事業（新規）

3,353万4千円

日向新富駅ICカード改札機設置



日向新富駅バリアフリー化事業 （新規）

5,206万8千円

バリアフリー工事費用負担金



富田浜緊急避難施設 整備事業（新規）

8,696万9千円

避難場所の整備



富田浜公園整備事業 （新規）

9,500万円

グラウンド等整備



就学前教育・保育施設整備事業 （新規）

2億8,191万4千円

認定こども園施設整備費用補助金



文化会館改修事業 （新規）

2億2,052万9千円

特定天井等の改修



スマホで視聴
できます▼




は た の おさむ
羽 田 野 治 議員

学校休日時の児童に 対する防災体制は

教育長

家庭での準備と地域や関係機関との連携を進める

ているので、情報を共有しながら連携している。



いざというとき
頼れるのは地域の力

問 自主防災組織の現状と今後の取り組みは。

町長 現在62地区中42地区が結成されている。今後、未結成地区には区長会を通じて呼掛け、地区のリーダー等への聞き取りを行ない、課題解決に取り組みながら結成を促していく。

町民サービス向上の取り組みについて

問 新田支所、上新田地区町民

サービスコーナーの利用状況は。

町長 月平均の利用者は共に250名程度。利用頻度の多いサービスとして、各種証明書の交付、募金収納がある。他にも各種申請受付や相談業務もおこなっているが、内容によっては本庁舎に案内することもある。

問 リモート窓口を導入する考えはないか。

町長 有効な手段であるが、職員と地域住民との関わりが薄れるなどのデメリットもある。デジタル化の意識の醸成度合いを見ながら再検討していく。



担当職員が遠隔で対応

中学校部活動の今後の方針について

問 今後の部活動運営の課題と対応策は。

教育長 部員の減少、指導教員

の不足など部活動によっては存続が危ぶまれる。現時点では、生徒の意見を尊重し、合同チーム編成などの対応をしている。

問 地域移行に向けた協議の中で、指導者や生徒の意見は考慮されているか。

教育長 十分ではないかも知れないが、指導者の声を聞き生徒の意向も考慮している。

問 生徒たちの希望を最優先に考えた部活動運営を進められないか。

町長 生徒それぞれの意向に沿った対応ができるように、町外を含めた広域での連携も検討していく。



子どもたちの「やりたい」を続けられる環境を

問 夏休みなどの学校休日期間中に、南海トラフ地震臨時情報が発令されたときの子どもたちへの対応は。

教育長 各家庭に対して、子どもと保護者の連絡体制や緊急時の信頼できる連絡先、助けを求め人、集合場所などを話し合っ決めておくように、繰り返しお願いしている。また地域や関係者との繋がりを持つように指導している。

問 地域との係わりが無い家庭も増えているがどの様に連携するのか。

教育長 民生委員や福祉課等が常に声掛けや状況把握を行なうとともに、児童生徒育成連絡協議会には各地区の関係者が入っ

スマホで視聴
できます▼



いまむらゆきのぶ
今村行信 議員

F35B関連の
住民説明会が必要では

町長 国へ住民説明会を
要請している

問 新田原基地におけるF35Bの垂直着陸訓練の実施について、国からの早急な住民説明会が必要でないか。

町長 4月の区長会を皮切りに町民への十分な住民説明会を順次開催するように要請している。



国の誠意ある対応を求める

問 国から説明があった新田原基地におけるF35B垂直着陸等の実施に関わる説明を受けて町長の考えは。

町長 これまでの説明からすると大きな変更であり、地元住民の安心安全な暮らしに係わる最重要課題と位置づけ、確固たる信念を持って強く交渉し、町民の皆様の安全安心の確保に全力で努める。

頼りになる
消防団員確保は

問 現在、団員定数を割っている状況にある消防団であるが、将来堅固な消防団の活動を維持するための団員確保に向けた町の役割は。

町長 発災時に重要な役割を担う消防団員確保は大きな課題と捉え、団員の処遇改善を図り負担軽減に努め、SNS等を活用した団員募集など広報・啓発を

図り、団員確保に努める。



心強い身近なヒーローたち

環境保全につながる浄化槽維持管理費の補助は

問 環境保全に理解のある高齢者世帯については、浄化槽維持管理費の補助金等の支援が出来るか何う。

町長 浄化槽が個人の財産であることから、大変難しいところもある。様々な点からしっかりと検討していく。

望まれる上新田・新田地区の整備について

問 議員と語ろう会等で、多くの住民から上新田・新田地区は店舗等も少なく、すたれていて寂しいとの声を聴く。上新田・新田地区の今後の整備計画は。

町長 新田西地区のほ場整備も令和8年度以降の工事着手に向け整備を進めている。町道佐土原・木城線の麓工区と二級河川猿ヶ瀬川改修工事を進め、いずれの工事も令和10年度までに完了する予定であり、この進捗に合わせて新田学園前広場の整備を令和12年度までに実施する予定である。上新田地区については、スマートインターチェンジ設置工事を早期完成に向けて進めているところで、周辺には企業誘致も進めながら事業を展開している。なお、旧上新田小学校跡地については、防衛省のまちづくり支援事業において、コミュニティセンターの設置や公園整備等も予定しており、上新田の拠点となるよう環境整備に努める。



スマートICの早期完成と
周辺開発に期待



町長 地方創生推進交付金配分計画及び本町の状況は

町長 新交付金について、当初予算に計上している

女性活躍推進の町を標榜するうえで「えるぼし認定」は価値があると考える。そこで町内企業の「えるぼし認定」の取得状況を伺う。

町長 県内に9事業者があるが、町内事業者は無い。

問 事業継続の息の長い推進の為に、町村会としての行動が必要だが町長の見解を伺う。

町長 地方6団体として行動している。これまでの「稼ぐ、創る、賑わう」の3カ年、そして「関係人口、交流人口拡大プロジェクト」として3カ年事業実施。今後「地域産業の魅力化と新ビジネス創出事業」の3カ年を申請。採択は3月末の予定である。

成長戦略について

問 本町の成長戦略予算と施策を伺う。

町長 子育て支援やゼロカーボン、地方創生、DX等、国や県の施策制度に対し特定財源の確

保や、ふるさと納税・企業版ふるさと納税を推進し、自主財源の確保に努力している。施策として、本町の子育て支援は、国の無償化から対象外とされた保育料等令和5年4月から無償化。その他学校給食費、高校生までの医療費など五つの無償化を国県に先行して実施している。

町長 女性活躍推進事業所の証



女性活躍推進事業所の証

女性活躍推進対策を伺う

問 女性活躍の場の確保は重要。

ハラール宮崎和牛肉輸出推進について



イスラム圏での市場拡大

問 新ハラール対象牛肉消費量は産地サプライヤーとしての大きな転機。行政・政治的なフォローアップは欠かせない。県は中東・東南アジアへと官民挙げて仕掛けの努力中で、SEMIは民間とはいえ伴走する姿勢を確認した。国県とともに協力が必要と思うが考えを伺う。

町長 新たな販路拡大、畜産業発展に寄与すると期待。前向きに取り組む。

上新田地域活性化について

問 上新田小学校跡地利活用の今後の進捗を伺う。

町長 上新田コミュニティセンター設置の計画を策定中。予定地周辺には公園整備も計画。令和10年度から事業開始予定。校庭跡地には興味を示している事業者との協議を進める。

問 スマートインターチェンジ周辺の開発動向を伺う。

町長 現在数社からの出店協議を受けているが確定には至っていない。積極的な誘致活動や土地利用の提案を行い、地域の発展に寄与して参りたい。



地域経済の活性化に期待

スマホで視聴
できます▼



い び かね ひさ
 捐 斐 兼 久 議員

問 次年度の防衛省等に対する
要望活動の焦点は。

町長 騒音区域の見直し、騒音
対策、安心・安全対策、周辺自
治体の活性化対策を強く要望す
るほか、再編関連訓練移転等交
付金の継続または新たな制度に
ついて要望する。

問 要望活動の成果及び防音工
事の実績は。

町長 防衛関連の3つの交付金
合わせて約9億2千万円と過去
最高となった。防音工事の実績
はこれまでで80世帯が完了。30
世帯が完了見込み、30世帯が着
手予定。

問 F35Bの訓練に係る事項の
問題点は。

国に対する要望活動につ
いて

町長 これまでの要望活動を
継続する

町長 訓練の方針変更は環境問
題としてとらえ、最重要課題と
位置付けている。防衛省に対し
て確固たる信念を持って強く交
渉するとともに丁寧な説明を求
めていく。



F35B着陸形体

問 住民への説明の前に、実際
に垂直着陸を実施してもらい、
どのぐらいの影響があるかを検
証したらどうか。

町長 関係者で岩国基地へ出向
き調査することも含めて、調整
したい。

問 整備拠点の誘致に関する現
在の動きは。

町長 様々な課題等をクリアに
しながら検討している。引き続
き実現性を考慮し研究していく。

防災、危機管理について

問 防災に関する今年度の実績
(成果)と課題は。

町長 南海トラフ地震臨時情報
発表や台風、大雨対策など事前
に準備していたことで適切に対
応できた。また、防災フェスタ
を開催するなど町民の防災意識
の啓発に努めた。

問 防災に関する次年度の計画
は。

町長 継続的に町民の防災意識
の啓発に努め、町民が気楽に参
加できる訓練等を計画する。地
域防災計画等の関連計画は随時
見直しを図っていく。

国の政策が及ぼす町民の利点、
財政に及ぼす影響について

問 103万円の壁や130万
円の壁が引き上げられた場合の

町民に及ぶ影響と、町財政に及
ぼす影響は。

町長 基準額の引き上げは、町
民に対しては税負担の軽減につ
ながるが、町財政には一般財源
の減少が懸念される。社会保険
関連では、被保険者や税収の減
少により国保運営への影響が懸
念される。制度改正について国
が協議継続中であるため、その
動向を注視していく。

水道事業について

問 企業団の経営統合について
現在の進捗は。

町長 令和8年度経営統合に向
けて、具体的な調整を行ってい
る。



一ツ瀬川営農飲雑用水広域水
道企業団との経営統合



まつ 浦 み 美 緒 議員

コミュニケーションボードの導入は

7月の参議院議員選挙から導入予定

実施できるよう準備する。



利便性向上で投票率アップ

問 町独自の投票率向上の取組は。

選管 毎年の区長会において、地区ごとの投票率を示し地区民へ投票の呼びかけをお願いしている。また、投票所に親子で来られた方に、職員や立会人の方から子供たちにお菓子をあげる光景も見られる。子供たちが将来有権者になった時の記憶に残って投票に繋がればと思う。

問 主権者教育における新しい取り組みを伺う。

選管 来年度は「選挙管理委員会による主権者教育に係る出前授業」を計画している。年一回小学6年生・中学2年生を対象とし、児童生徒の発達段階に応じた内容を調整中である。



選挙を身近に感じる取り組みを

防災士資格取得について

問 有資格者113名に対する町独自の研修を行なう考えはないか。

町長 まずは防災士ネットワークとの連携を図りつつ、新規取得者の意識調査や町内防災士の技能向上と意思疎通を図るための研修会やアンケート実施等について今後検討していく。

放置竹林対策について

問 現状を伺う。

町長 竹林面積はおよそ60ha程度と推測される。森林環境譲与税を財源とした里山再生支援事業により所有者の方の申請に基づいて放置竹林伐採に対して事業費の三分の一を補助する事業に取り組んでいる。また孟宗竹の放置竹林を伐採して飼料や肥料を製造している町の誘致企業もあるので大いに活用してもらいたい。

問 今後の取組は。

町長 所有者へ適正な管理をお願いするとともに、補助事業の周知及び利活用を図り誘致企業と連携・協力しながら放置竹林対策に努める。



資源として生まれ変わる

問 投票率向上の取組としてコミュニケーションボード導入予定だがその内容を伺う。

選管 投票に来られた方からのよくある質問や依頼をイラストでまとめたもので、文字や話し言葉が難しい方であっても、指差しでコミュニケーションを取ることができるとの。例えば「入場券がありません」「字が書けません」「書き間違えました」などの意思を伝えるために活用するもの。

問 不在者投票の手続き簡素化として国が運営する「びったりサービス」からオンライン申請ができる電子申請手続きがあるが導入の考えはないか。

選管 次の参議院議員選挙から

スマホで視聴
できます▼



こやま さなえ
小山早苗 議員

問 事業の概要は。

町長 昨年3月に台北市萬華区と友好交流協定を締結。今年度は12月に中学生派遣と新富町物産フェアを行い、2月にヴィアマテラス宮崎の選手のスポーツ交流事業を台湾で実施した。

問 事業の効果は。

町長 国際交流を図ることにより様々な知識や視野を広げることができ、今後の本町における教育文化やスポーツ、産業振興の促進を図るうえで第一歩となったと考える。

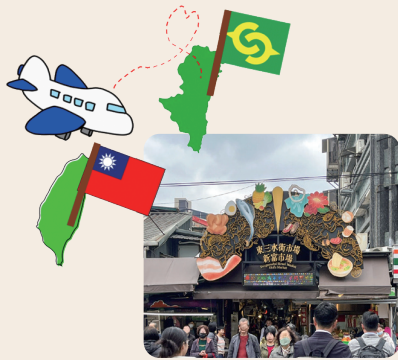
問 今後の展開は。

町長 今後も子供たちやスポーツ、地元産品の物流を通じた永続的な相互交流ができる体制を

台湾交流事業について

町長 持続可能な地域活性化を図っていききたい。

構築しながら本町の魅力を世界的に発信し、持続可能な地域活性化を図っていききたい。



相互交流で活性化を

災害に備えた対策について

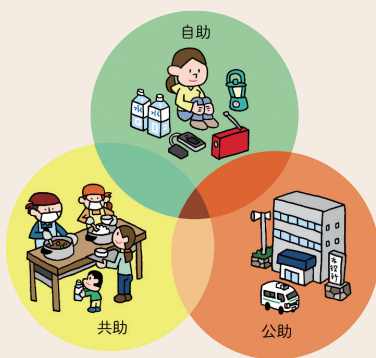
問 防災訓練の内容と評価は。

選管 南海トラフ地震等の大規模災害が発生した際の訓練として、各防災関係機関と昨年11月に防災訓練を実施した。各防災

関係機関との連携要領の確認や住民の防災意識の高揚を図るうえで大変有意義な機会であったと考える。

問 災害対策は。

町長 災害ごとの被害想定に基づき、必要な避難所や非常食を含む資機材等の整備を段階的に実施するとともに、迅速的確な対応を行うための体制整備や各地区の自主防災組織等を中核とする「共助力」の向上に関する体制の整備に努めている。



日頃からの準備と助け合いで命を繋ぐ

本町の事業承継の実態について

問 農林水産業の事業承継の実態は。

町長 農林水産業の事業承継は町、県、及びJAみやざきなど関係機関と連携して新規就農者等へ施設の斡旋や事業承継の取り組みを進めている。園芸農家の施設承継は昨年度3件、今年度3件、畜産農家の事業承継は、今年度は1件の実績があった。

問 商工業の事業承継の実態は。

町長 商工業では商工会、宮崎県事業承継・引き継ぎ支援センターなど専門機関を通じて事業実態の把握や具体的な課題を抽出し事業承継に関する様々な支援をおこなっている。今年度は8社の相談を受け、3件の実績があった。今後も重要課題と捉え、更なる取り組みを進めてま



未来に繋ぐ事業のバトン

3月定例会報告②

令和6年度一般会計予算を可決 一般会計予算、特別会計

一般会計補正予算(第10回)

既定の総額から1億2,180万2千円を減額

※事業費確定に伴う調整

総額150億3,015万3千円

総務産業常任委員会

議案第2号「令和6年度新富町一般会計補正予算」では、歳入歳出をそれぞれ1億2,180万2千円増額し、総額を150億3,015万3千円としました。歳出は事業費の増減調整や基金積立金、農業支援、商業活性化事業を計上。歳入には町税、交付税、寄付金等を調整。繰越明許費補正は物価高騰対応事業ほか16件を翌年度に繰り越し、債務

負担行為補正は家畜疾病経営維持資金等の利子補給補助金を決めました。地方債補正は災害復旧事業等を追加。議案第6号「土地取得特別会計補正予算」は歳入歳出を55万7千円減額し、繰越金を増額。両議案とも適切と認め全会で一致で可決した。

国民健康保険特別会計補正予算(第4回)

既定の予算の総額に4,934万円を増額

※交付額決定等による調整

22億2,424万4千円

介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4回)

既定の予算の総額から3,163万円を減額

※交付額決定等による調整

18億1,166万5千円

介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第3回)

既定の予算の総額から473万7千円を減額

※事業費確定に伴う調整

1,566万円

後期高齢者医療特別会計予算(第3回)

規定の予算の総額に167万1千円を増額

※広域連合通知に基づく調整

4億8,944万6千円

文教厚生常任委員会

令和6年度新富町特別会計補正予算について、国民健康保険特別会計補正予算は、歳入歳出をそれぞれ4,934万円増額し、予算総額を22億2,424万4千円に変更。県支出金及び繰入金の増減調整のほか、前年度繰越金を計上。介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算は、歳入歳出をそれぞれ3,163万円減額補正。国・県支出金や支払基金交付金の交付額決定に伴う増減調整のほか、

繰入金を減額。介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算は、歳入歳出をそれぞれ473万7千円の減額。共済費及び人材派遣委託料を減額し、繰入金を調整。後期高齢者医療特別会計の歳入歳出をそれぞれ167万1千円増額。納付金等の増額に伴う保険料の増減調整ほか、受託事業収入及び繰入金を減額。いずれも健全と認め、全会一致で原案通り可決した。

令和7年新富町議会

専決処分の報告 (2件)

○大和ため池掘削工事請負変更契約の締結について

湧水の追加対策による既存請負額の増加で**158万5,793円**を増額

変更後の契約を **6,659万5,793円で締結**

○新富町農畜産物直売所外構工事請負変更契約の締結について

各種変更に伴う請負額の増加で**498万4,902円**を増額

変更後の契約を **2億4,940万4,902円で締結**

条例制定・改正・廃止 (9件)

- ・新富町公衆無線LAN運営基金条例
- ・新富町文化施設維持管理基金条例
- ・人事院勧告に伴う関係条例の整理に関する条例
- ・刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- ・新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・新富町いこいの広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・新富町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例
- ・新富町新型コロナウイルス感染症対策応援基金条例を廃止する条例
- ・新富町有線ラジオ放送施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

議員発議 (令和7年3月19日発議第1～3号)

発議第1号 新富町議会委員会条例の一部を改正する条例

発議第2号 新富町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

発議第3号 新富町議会会議規則の一部を改正する規則

令和7年新富町議会1月臨時会報告

一般会計補正予算 (第9回)

既定の総額から**4億8,663万8千円**を増額

※ふるさと納税寄付金増収見込みに伴う調整

総額151億5,195万5千円

令和7年1月臨時会 議案等の審議結果

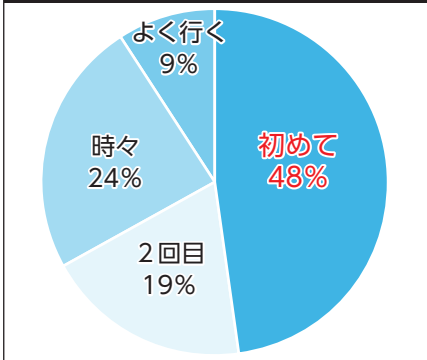
番 号	件 名	結 果	
議案第 1号	令和6年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
承認第 1号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員

令和7年3月定例会 議案等の審議結果

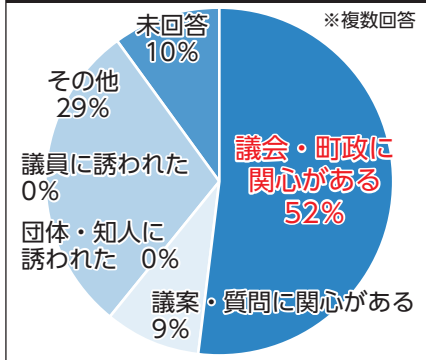
番 号	件 名	結 果	
議案第 2号	令和6年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第 3号	令和6年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第 4号	令和6年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第 5号	令和6年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全員
議案第 6号	令和6年度新富町土地取得特別会計補正予算	可決	全員
議案第 7号	令和6年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第 8号	令和7年度新富町一般会計予算	可決	全員
議案第 9号	令和7年度新富町国民健康保険特別会計予算	可決	全員
議案第 10号	令和7年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	可決	全員
議案第 11号	令和7年度新富町後期高齢者医療特別会計予算	可決	全員
議案第 12号	令和7年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計予算	可決	全員
議案第 13号	令和7年度新富町土地取得特別会計予算	可決	全員
議案第 14号	令和7年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算	可決	全員
議案第 15号	令和7年度新富町水道事業会計予算	可決	全員
議案第 16号	新富町公衆無線LAN運営基金条例	可決	全員
議案第 17号	新富町文化施設維持管理基金条例	可決	全員
議案第 18号	人事院勧告に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	全員
議案第 19号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	全員
議案第 20号	新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 21号	新富町いこいの広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 22号	新富町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 23号	新富町新型コロナウイルス感染症対策応援基金条例を廃止する条例	可決	全員
議案第 24号	新富町有線ラジオ放送施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	可決	全員
報告第 1号	専決処分の報告について (令和6年度防衛施設周辺障害防止事業 大和ため池掘削工事請負変更契約の締結について)	-	-
報告第 2号	専決処分の報告について (令和6年度農山漁村振興交付金 新富町農畜産物直売所外構工事請負変更契約の締結について)	-	-

議会傍聴者アンケート (令和6年総数21件)

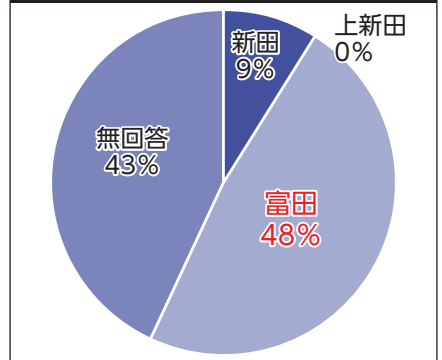
傍聴頻度



傍聴目的・理由



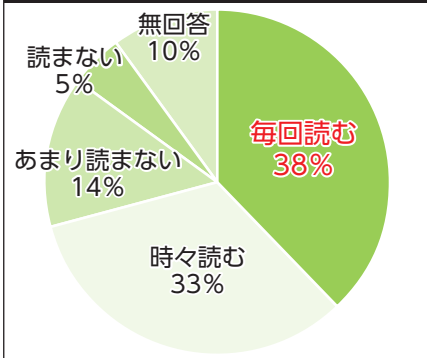
地域



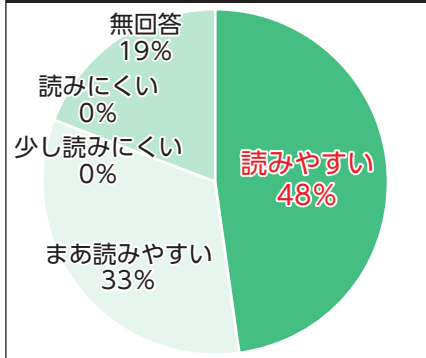
議会傍聴アンケートによる感想として、「知らないことや執行部の考えが聞けてよかった」「広報だけでは知り得ない詳細な情報が得られた。」「議会を身近に感じることができ自身の啓発にもなった。」「熱意や熱心さ

が伝わり、もっと多くの町民の方々に足を運んでもらいたいと感じた。」「町民の声を議員が代弁し、町政に活かされていくことを感じる事ができた。」などの声が寄せられた。

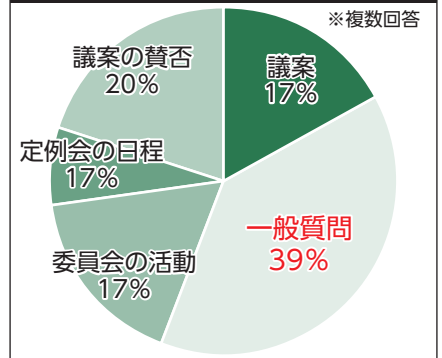
議会だよりを読みますか



読みやすさは



議会のどんな情報を知りたいか



議会だよりに関する評価は概ね良好であり、読まない・あまり読まないと答えた方が去年の36%から、無回答を含めて29%と改善。読みやすさに関しては無回答を除くと概ね読みやすいと評価。傍聴者に限定した

結果であるため、議会だよりに関する評価は別の方法でアンケートを実施し、多くの町民の意見を拾い上げていく必要がある。

まとめ

令和6年のアンケート回答者が、昨年より減少しているが、6月定例会から始めたYouTube配信による、傍聴者の総数の減少も要因の一つと考える。しかしながら、3月現在のチャンネル登録者は23名、最高視聴回数が217回と、広く認知されていない状態である。今後

は、YouTube配信の周知にも取り組み、多くの町民が議会に興味を持っていただけるように努める。

傍聴アンケートにご協力いただきありがとうございました。皆様からのご意見、ご要望に応えられるように議員一同、刻苦勉励に努めていく所存です。

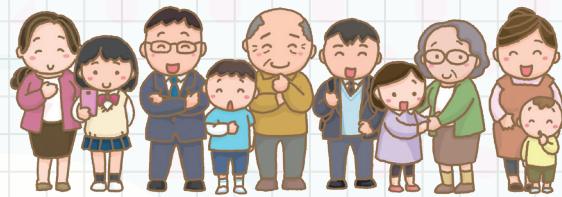
《現地調査》 一ツ瀬川宮農飲雑用水広域水道企業団



串木取水井：滅菌処理後、各戸に給水される

将来にわたり安定的なサービス提供と持続可能な事業経営のため令和8年度経営統合に向け調整を進める。

う会を開催



令和7年3月6日 富田地区限定開催

会場：新富町総合交流センターきらり



Q2 新富町のよいところは？

※全部で46件のご意見をいただきました。
一部ご紹介します。

- 保育料、給食、医療費などの無償化
- サッカー場周辺がにぎわってきた
- 図書館が利用しやすい
- チャレンジショップがよい
- 学校の冷暖房完備、エレベーター設置
- 芝生の公園がいたるところにある
- 宮崎市、空港が近い
- ほどよい田舎感がよい
- コンビニが多くなった
- 病院が増えてきた
- 温泉の泉質がよい
- ヴィアマテラス宮崎の選手が身近にいる
などなど・・・。

Q1 住民として気になることは？

(課題や問題点、要望など)

- 第1位 まちづくり関連 30件
- 第2位 生活全般、地区（自治会） 21件
- 第3位 道路、河川、交通関連 20件
- 第4位 飲食店、買い物関連 17件
- 第5位 自衛隊、防音工事関連 6件
- 第6位 防犯、防災関連 4件
- 第7位 学校、部活動関連 3件
- その他 6件
- 全部で107件のご意見をいただきました。

次回開催時にもよろしくお願いします。

一般質問等で活用させていただきます。



議員と語る

サッカーで賑わってきたけど宿泊施設
がもっと増えたらいいのにね



ゴミ出しのルールを守
らない人が結構いるよ



屋内で遊べるような施
設をつくってほしいな



人口が増えて高齢者も若
い人たちも住みやすい町
になってほしい

若者が帰ってくるように
企業誘致して働ける場所
が増えるといいと思う



飲食チェーン店が来て
くれないかな



保育料、医療費、給食など子育て支援
がうれしいです

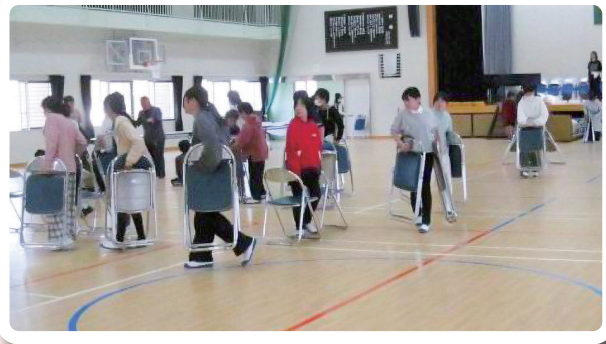
たくさんのご参加ありがとうございました。

※今回いただいたご意見は、各議員が

PICK UP

式典の裏側

卒業式までには元気に咲いて、
子どもたちを見届けてくれよ。
卒業生のみんな！
中学校でも待ってるから、立派
な制服姿を見せてね。



いよいよ明日は
卒業式！
みんなて6年生
の門出をお祝い
するよ。

**あ
と
が
き**

3月に九州以北では初となる真夏日を記録するなど、毎年のように記録的な〇〇という気象情報を耳にします。また、南海トラフ地震の発生確率も引き上げられ、防災に対する準備と意識改革が急がれます。大規模災害では公的機関の救助隊による救出は僅か2%程度で、ほとんどが自力・家族・隣人の力によるとの調査結果があります。

春休みの公園には多くの子どもたちの笑顔があふれていました。この笑顔を絶やさないためにも私たち大人がしっかりと準備をし、地域と連携しながら見守ることが必要だと思えます。

おさむ

議会広報特別委員会

委員長 羽田野 治
副委員長 小山 早苗
委員 今村 行信

松浦 美緒
石崎 俊二
揖斐 兼久

連絡先 議会事務局

☎33-6139